

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営事業				担当	健康福祉部 子ども家庭課 子育て支援係		
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	子育て支援の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 真岡市次世代育成支援対策行動計画 真岡市子ども・子育て支援事業計画 真岡市地域福祉計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰越（開始年度 平成24年度～）		
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	2. 児童福祉費	1. 児童福祉総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	『子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）』と『子育てのお手伝いをしたい人（提供会員）』が会員となり、市民同士でお互いに助け合う育児の相互援助を行う組織の運営 [援助できる内容] ・保育園・幼稚園への送迎や、園の開始前・終了後の子どもの預かり ・学校の放課後、学童保育終了後の子どもの預かり ・保護者が病院・学校行事・冠婚葬祭・買物等に出かけるときの子どもの預かり [実施主体] 市（真岡市ファミリー・サポート・センター）サービス利用仲介調整、保険加入、提供会員研修・交流会開催 国1/3・県1/3補助 [利用料金]1時間当たり700円（平日の午前7時～午後7時以外800円）（1時間以後の30分未満、2人目以降は半額） [利用料金の一部補助]利用料1時間当たり200円（半額の場合は100円）							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 ・会員登録 ・利用申込 ・利用打合 ・利用 ・利用料の支払 ・利用料補助金の申請 ・利用料補助金の支給 ・実績報告 ・保険の加入 ・提供会員研修 ・交流会開催 31年度計画 平成30年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア 依頼会員数	人	229	263	279	306	350		
イ 提供会員数	人	52	52	50	48	50		
ウ 両方会員数	人	5	5	6	6	8		
エ 会員数（合計）	人	286	320	335	360	420		
オ 支援を受けた児童の延人数	人	308	426	472	507	560		
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 生後6月児から小学校6年生までの子と保護者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア 対象乳幼児・児童数	人	9,454	9,292	9,135	9,010	9,289		
イ 登録乳幼児・児童数	人	370	426	465	506	550		
ウ 登録割合	%	3.9	4.6	5.1	5.6	5.9		
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） サービスを利用することで、保護者の子育て負担を軽減する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア 登録乳幼児・児童数	人	370	426	465	506	550		
イ 支援を受けた児童の延人数	人	308	426	472	507	560		
ウ 利用割合	%	83.2	100.0	101.5	100.2	101.8		
エ								
オ								
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 保護者の子育て負担が軽減されることで、保護者が仕事と育児を両立し、安心して働くことのできる環境がつけられる。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
ア 子育ての負担が軽減された割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
イ								
ウ								
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	113	122	115	129	126
		県支出金	千円	113	122	115	129	126
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	107	160	125	241	297
	事業費計(A)	千円	333	404	355	499	549	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	300	300	300	300	300
		人件費計(B)	千円	1,257	1,246	1,245	1,251	1,251
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,590	1,650	1,600	1,750	1,800	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	「第10次市勢発展長期計画」「次世代育成支援行動計画」にH26年度までの事業開始を位置づけられていた事業で、H23年1月に実施要綱を制定し、H24年7月よりサービス利用を開始した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	利用についてはリピーターが多い。 平成27年度から提供会員研修について、栃木県が実施する「子育て支援員研修事業」の履修が必須となった。 平成28年度から依頼会員に対し、利用料金の一部補助（200円/1時間）を開始した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	急用の時などに子どもを預けられるので便利との声がある。 利用料金の補助は家計が助かるとの声がある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 「第10次市勢発展長期計画」「次世代育成支援行動計画」に子育て支援の充実のため、事業開始を位置づけられていた事業で、市の政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 子育て支援の充実、市の責務のため妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 生後6月児から小学校6年生の保護者であれば、誰もが会員となり、サービス利用ができるので適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある より利用しやすい体制整備のため、提供会員を増やし、利用会員の増加、利便性の向上を図ることが必要である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 子育て支援の充実のため、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の運営経費で実施しており、削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で実施しており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 6か月児から小学校6年生の保護者であれば、誰もが会員となり、サービス利用ができるので公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							